



Premier Cru

主なアドバイザー

ステーシー・リー・ゴールドディング / ポーラ M ゴールドディング

Premier Cru House 34 Orchard Drive Edgware Middlesex HA8 7SD

電話 +44 (0) 20 8905 4495 Fax +44 (0) 20 8905 4496

ウェブ www.premiercru.com Eメール sales@premiercru.com



Premier Cru

INVESTMENT ADVISERS LIMITED

ファイン・ワイン・インベストメント・アドバイザーズ
(1994 年設立)

投資戦略
高級ワイン - 簡単な歴史
特別なワインとは？

投資戦略

プルミエ・クリュ・インベストメント・アドバイザーズ リミッテッド (Premier Cru Investment Advisers Ltd) (PCIA) の主な目的は、機関投資家たちが自分たちの顧客の資金を高級ワインに投資する際に、カレラに対してアドバイスをすることです。私たちの戦略は、プロによる慎重な管理を通じ、一貫して可能な資金レベルを提供できるような高級ワインを購入することです。さらに、私たちは、高品質の高級ワインと最高の投資機会にアクセスするために、市場における他のスペシャリストたちとのつながりを利用するものです。

私たちは、投資の潜在的な業績を確保するために、高級ワインの価値を増すことを実現することによって、積極的に最善の最終計画を探求します。ワインは通常、中期から長期にわたり保管され、これにより、この資産クラスへの投資は歴史的な市場の動きを反映するような、最高の条件を反映するものとなります。

アドバイザーとして、私たちは顧客に代わり古いビンテージから新しいものまで広範囲にわたって投資します。供給がすぐになくなる、質が上がるにつれ需要も増加する、すぐに飲めるほどに成熟したワインと、需要がひじょうに多く常に売買されている若いビンテージを混ぜて購入することにより、私たちは世界の最良のワインから成る、バランスの取れたポートフォリオを作り上げることができるのです。

それぞれの投資用ワインには、それぞれのリスク・プロファイルがあります。他の投機的なワインよりもポテンシャルなアップサイドが少ない、ひじょうに信頼のおける投資のタイプがあります。投資アドバイザーとして、私たちは私たちの顧客のリスク・プロファイルを彼らのニーズとマーケットの状態に合わせて修正しています。



ワイン投資の技は、その他の商品同様、いつ売るべきか、またいつ売ってはいけないうかが知っていることが秘訣です。また、よきワン・セラーというのは、幅広く、受動的に管理されるものです。“アン・プリムール”として知られる新しいビンテージが醸造・販売されるとき、運転資金を調達するためにストックが売買されますが、私たちの顧客は初値にて購入することができるのです。すべてのビンテージが投資にふさわしい十分な質を有するものではなく、また投資にふさわしい高級品は、あまたのワインのなかのほんのひと握りにすぎないのです。

液体の資産

高級ワインをここまで興味深い投資のチャンスにらしめる要素は、将来的にも変わらないその長い命と、歴史的な位置にあります。高級ワインは、人生の贅沢のひとつに数えられています。けれども、安定した、比較的ロー・リスクでハイ・リターンの証明された記録を持つ高級ワインは、真に利潤と愉しみを併せ持つ投資対象なのです。

単純な需要と供給のバランスにより、投資を念頭に入れたひとびとがこの機会に気づいてきていることにより、高級ワインの需要は年々高まっています。最高級のボルドー・ワインへの投資は、他のどの市場と比べても優れたリターンと少ない乱降下を見せています。

高級ワインに投資するとき、品質と購入価格、量、シャトーとビンテージが最重要項目となります。いったん瓶詰めされると、保存時の空気と温度と条件が同等に重要となります。

すべてのほかの投資同様、売ることのできる市場がなければ意味がありませんが、ユニバーサルなワイン市場よりも優れた市場はありません。そこでは数多くの購買者がぐすねを引いて、常に品薄になる高品質のストック購入を狙っているのです。



ワイン市場の簡単な歴史

インカ族はワインを通貨として売買しました。エジプト人は、ファラオを描くときにワインの杯とともに描き、亡くなったときには他の宝物とっしょに、来世での食物としてワインとともにその杯を埋めました。ギリシア人もローマ人も、ワインの神を持っていました。ディオニソスとバックスがそうです。古代エジプトでは、ワインは上流階級とファラオのみに飲まれていました。墓地の絵ではエジプトのブドウ畑とワイン醸造のテクニックのかなり正確な描写を見ることができます。ブドウ畑を作るのに最適の場所は丘でしたが、丘がない場合にはエジプト人たちは土地を人工的に盛り上げ、そこにブドウを植えました。ブドウ畑は概して壁で囲まれ、谷に位置するボルドーとひじょうに似通っています。盥から手で散水され、ブドウの世話は庭師頭のもっとも重要な任務でした。当時ですら、ワインが熟成するよう数年間も保存することはよく行われていました。ツタンカーメンの墓の付属室では、36本のワインの瓶が見つけれ、1つ1つにはヒエログリフで、ワインの日付と場所、ビンテージのラベルが書かれており、最低21年を経たアテンの領土のブドウ園のワインであることが記されていました。

実際、紀元前500年ごろに、最初のブドウの木をフランスに持ち込んだのも、紀元50年ごろにボルドーに植えたのもローマ人たちでした。ローマのワインの質には広い幅があり、かなり詳細な書面が残っています。それは明らかにきわめて強い保存力を有しており、当時からそのワインが優れていたものだったことを示しています。偉大なビンテージについて論じられており、とても可能とは思われないほど長きにわたって飲まれています。紀元前121年に作られたワインが、125年後に飲まれたという記録があります。歴史上、もっとも重大な動きは、ローマ人たちがブドウの木をガリア(ゴール)地方に持っていったことです。5世紀に現在のフランスを離れたときに、現代のもっとも偉大なブドウ畑のほぼすべての基礎を築いていたこととなります。



トップ5の分類

ナポレオン三世は、1855年に、「5つのワイン指標」を実際に開始し、ボルドー・ワインを1から5までの等級(ビンテージ)に区分しました。彼は、過去100年間以上の各シャトーの品質と価格の実績に基づいて決定を下しました。そこで、高級ワインには1775年までさかのぼれる価格の歴史が生まれたのです。シャトー・ムートン・ロートシルトが1979年に第2級から第1級ワインに変更されたときを除き、なにひとつ変わっていません。実際、1855年に施行された法律は、現在も引き続き遵守され、国立原産地名称研究所 (Institut D'Appellations d'Origine) により監督され、ECの指導部により遵守されているのです。



ボルドー・ワインを世界でもっとも高級かつ有名な人気商品たらしめている、3つの主要要素があります。

1) 天候

他のすべての果物同様、ブドウが優れた、甘い、水分たっぷりの実をつけるためには理想的な天候条件が必要です。イギリス同様、フランスの天候は不規則かつ予測のつかないものです。真に卓越したワインというものは、理想的な天候条件の下でしか醸造できません。4月の後半にブドウが蕾をつけ始めるころから9月か10月の収穫まで、1滴1滴の雨水が、1時間1時間の日の光が、ほんの少しの熱でさえ、最終的に出来上がるワインの質と特徴に結果として現れるのです。そうして、おのおののビンテージに特有の個性をもたらします。

■ 4月の始まり。最初のブドウの蕾が、その年の収穫の予測の始まりです。これから10日以内に葉が形作られます。この時期に霜が降りると出来に影響し、また収穫量も減ることになります。覆いなどでブドウの木を保護することは法律により禁止されているため、肌寒い春の夜、村人たちはヒーターや火炎放射器で大気を暖め、蕾を守るのです。

■ ブドウの花は6月の初旬に咲きますが、よいブドウの実をつけるには、10日~14日くらいのおいだ咲き続けなければなりません。この時期の大雨は収穫にとって大敵です。

■ 花が雨にも濡れず、霜にも合わずにすむと、ブドウの実がなります。8月にはブドウの実が、赤、または透き通った黄色に色を変えます。熟していく過程がこのとき始まり、100日間ほど続きます。このときに、天候はワインに最大の影響を与え、醸造されるワインの最終的な味と特徴を決定付けます。

■ 収穫は、9月の半ばから10月の半ばのいつかに始まります。タイミング悪くこの取り入れ前に雨が降るとブドウが膨らみ、これにより醸造されるワインが薄くなり、品質と熟成能力を劣化させます。

10あるビンテージのうち、投資ワインになりえる高品質ワインは 3 か 4 しかないということを歴史が証明しています。

2) アペラシオン・コントロール

もしもワインのレベルにこの認証が付いている場合、国立原産地名称研究所の厳しい監督の下醸造され、フランスの特定の地域で栽培されたブドウから作られたものであることを証明するものです。最初のアペラシオンは、1936年にシャトーヌフ・デュ・パプ(Châteauneuf-du-Pape)にて制定されました。それ以来、この制度はフランス中に広まり、現在では、西部フランスにて醸造されるワインを含む、全体の30%までをカバーするに至っています。国立原産地名称研究所は、まず特定のアペラシオンに相当する地域を測り、定義し、その後フランス国の法律に基づき権威を持つこととなります。これには植樹が許可されるブドウの木のバリエーション、品質を保証するための最大生産量の設定、剪定方法、また、しばしば、ワイン醸造のために使われる詳細なテクニックが含まれます。

アペラシオン・コントロール制度の目的は、- ある特定の地域のワインの品質を維持・強化し、その土地のワインの特徴を維持すること。国立原産地名称研究所の権威の下に醸造されたワインは、ラベルに、中身が最高の品質であること、また生産量に限りがあることを示す、「アペラシオン・コントロール」という語を表示することが許されています。同研究所は、1つのビンテージに対して、1つのブドウ畑では、1エーカーにつき177箱分のラベルしか発行できないように制限しています。すべてのラベルが貼られつくした後に残ったワインは、格下の2番目のラベルを貼って販売されるか、別のワインとブレンドされます。



3) 熟成と品質

シャトーにて樽に入れられた新しいワインは、“アン・プリムール”または“将来のワイン”と呼ばれます。ビンテージとはその年に収穫されたワインですが、次の年の春まで販売されることはありません。私たちは毎春、よいビンテージであることを条件に、また毎年、最高のワインを醸造するシャトー1本に絞り、投資としてこれを購入しています。ほとんどのバイヤーには、優れたビンテージを購入するときに不利な点があります。買えないのです。多くのワイン商人は、バイヤーがたしょう劣る飲用ワインを同等の価格分購入する場合にのみ、最高のワインを売ってくれるのです。私たちはずっと、安価なワインを買うという義務なしに、私たちが選んだシャトーのワインを購入する割当を確保してきました。その年のワインの質にかかわらず毎年購入することを押し付けられているワイン商人と違い、私たちは高品質でないビンテージを購入することはないのです。

私たちが購入するワインのほとんどは、名のあるビンテージであり、流通市場取引も確立されています。ワインが飲めるまでに熟成するや、在庫は消え

てしまいます。投資用にふさわしいほどの優れたワインは、通常、40年間から49年間、あるいはそれ以上の寿命を持ちます。

卓越したワインは、飲料に適するまで熟成するのに、平均で5年から7年かかります。けれども、ほとんどのワイン専門家・目利きは、そのワインが飲まれるのにもっとも適するレベルに達するまで待ちます。通常は、12年から18年のくらいの間です。ワインはその後、ボトルのなかで成熟を続け、年を経るほどにどんどんよくなります。それは、“ピークを超える”まで、つまり、最高の時代が過ぎ、飲めなくなるまで続きます。おのおののワインを熟成の最初の段階から最後の段階まで集めて飲む愛好家もいれば、若いワインのみを好んで飲む愛好家も、また、成熟したワインを好む愛好家もいます。暫定年内にクラレットを購入したい愛好家やレストラン、ホテル、カジノ、会員制クラブなどがあることは明らかです。

周知のとおり、消費により減少する供給と、品質と希少性が上昇するために増加する需要が、ひじょうに良好で安定した市場の基盤となっています。

アドバイザー

1995, 年に設立されたプルミエ・クリュ・インベストメント・アドバイザーズ リミテッド (Premier Cru Investment Advisers Ltd) は、ロンドンに拠点を置くヨーロッパの一流の高級ワイン投資顧問会社です。

投資のエキスパートであるポーラ M ゴールディングとステーション・リー・ゴールドディングにより設立されたこの投資顧問会社は、高額所得者や、ボルドー・ワインという価値ある商品に投資して利益を出すというイデオロギーに興味を持つ個人に代わって、ワインの個人投資の管理をします。高級なニッチのワインの市場と構築された投資セラーの2年間に及ぶ調査と開発を、優れた管理システムにより完成させ、ゴールドディングはクライアントにセラーの購入と投資顧問、管理において、またこの非課税の投資を多様化させ、リスクを分散させるための方法として投資家の心理に訴えかける、老練かつ実際のサービスを提供する指導者となる専門家たちのチームを立ち上げました。

ポーラ・ゴールドディングは、1978年に取引と顧問の免許を取得し、アビー・ライフ (Abbey Life) 社において金融サービス・セクターでのキャリアを積み始めました。管理業務における自分の強みに気づくまで、2年間直接販売に従事しました。1995年にプルミエ・クリュ・インベストメント・アドバイザーズ リミテッド (Premier Cru Investment Advisers Ltd) を設立するまで、15年間管理業務に携わってきました。

ステーション・リー・ゴールドディングは、弱冠19歳で、ロスチャイルド・アソシエイツ (J. Rothschild Associates) 社にて免許を取得し、イギリスで最年少のファイナンシャル・アドバイザーのひとりとなりました。1992年にはNIC回避スキームを通じて高級ワイン市場を知るに至りました。このスキームにはそれほど興味を惹かれませんでした。高級ワイン市場は興味深いものでした。ポーラとのさらなる調査とワインの歴史の研究の結果、この贅沢品を投資に利用するポテンシャルは、資本を投入してみるに足るチャンスだということが分かりました。ステーションは、「Growing」というビジネス雑誌の2004年10月号で、「ヤング・ガン」と呼ばれ、これは後、2007年10月に、クールボアジエ・フューチャー (Courvoisier Future) 500人のビジネス・ウーマンに選ばれる前触れとなりました。プルミエ・クリュ・インベストメント・アドバイザーズ リミテッド (Premier Cru Investment Advisers Ltd) は、ロンドンと大ロンドン地域の家族経営の会社に対して与えられる、クーツ銀行2006年度の賞のファイナリスに選ばれました。

